

宮城教育大学 菊池佳子

なぜこのような調査をしたのか?

学習指導要領	実施年度	
	小学校	中学校
平成元年度改訂	H4年度~	H5年度~
平成10年度改訂	H114年度~	H1 <i>1</i> 1年度~

月の学習内容

大幅削減

月の学習内容が削減された学習指導要領で学んできた学生が、月の運動と見え方についてどの程度知っているのか。

中学校

(減) → 高校1年生~25歳

高校1年生~大学3年生 → 小・中学校で月の学習が減!

小·中学校学習指導要領における 天文分野の学習概要の変化

(平成元年度改訂 全面実施:小学校:4年度~、中学校:5年度~)

校種	学年	取り扱う内容		
小学校	第3学年	太陽と地面の様子	・日陰の位置と太陽の動き ・地面の暖かさや湿り気の違い	
	第5学年	月と太陽	・月の動き・月の位置や形と太陽の位置・月の表面の様子	
	第6学年		・星の明るさや色・星の動き	
中学校	第3学年	天体の動きと地球の自転・公転	・天体の日周運動と地球の自転・星の年周運動や季節による昼夜の長さ、 太陽の南中高度の変化と地球の公転、 地軸の傾き	
		太陽系と恒星	・太陽、月、地球の特徴 ・惑星と恒星 ・惑星の公転と太陽系の構造	

小·中学校学習指導要領における 天文分野の学習概要の変化

(平成10年度改訂 全面実施:小学校:14年度~、中学校:14年度~)

校種	学年	取り扱う内容		
小学校	第3学年	太陽と地面の様子	・日陰の位置と太陽の動き ・地面の暖かさや湿り気の違い	
	第4学年	月と星	・月の形と動き・星の明るさや色・星の動き	
中学校	第3学年	天体の動きと地球の自転・公転	・天体の日周運動と地球の自転 ・星の年周運動や季節による昼夜の長さ、 太陽の南中高度の変化と地球の公転、 地軸の傾き	
		太陽系と恒星	・太陽の特徴・惑星と恒星・惑星の公転と太陽系の構造	

小·中学校学習指導要領における 天文分野の学習概要の変化

(平成20年度改訂 全面実施:小学校:23年度~、中学校:24年度~)

校種	学年	取り扱う内容		
小学校	第3学年	太陽と地面の様子	・日陰の位置と太陽の動き ・地面の暖かさや湿り気の違い	
	第4学年	月と星	・月の形と動き・星の明るさ、色・星の動き	
	第6学年	月と太陽	・月の位置や形と太陽の位置 ・月の表面の様子	
中学校	第3学年	天体の動きと地球の自転・公転	・天体の日周運動と地球の自転 ・星の年周運動や季節による昼夜の長さ、 太陽の南中高度の変化と地球の公転、 地軸の傾き	
		太陽系と恒星	・太陽の様子・月の運動と見え方(日食、月食を含む)・惑星と恒星(銀河系の存在を含む)・惑星の公転と太陽系の構造	

アンケートについて

◆対象

-学年:大学1~3年生

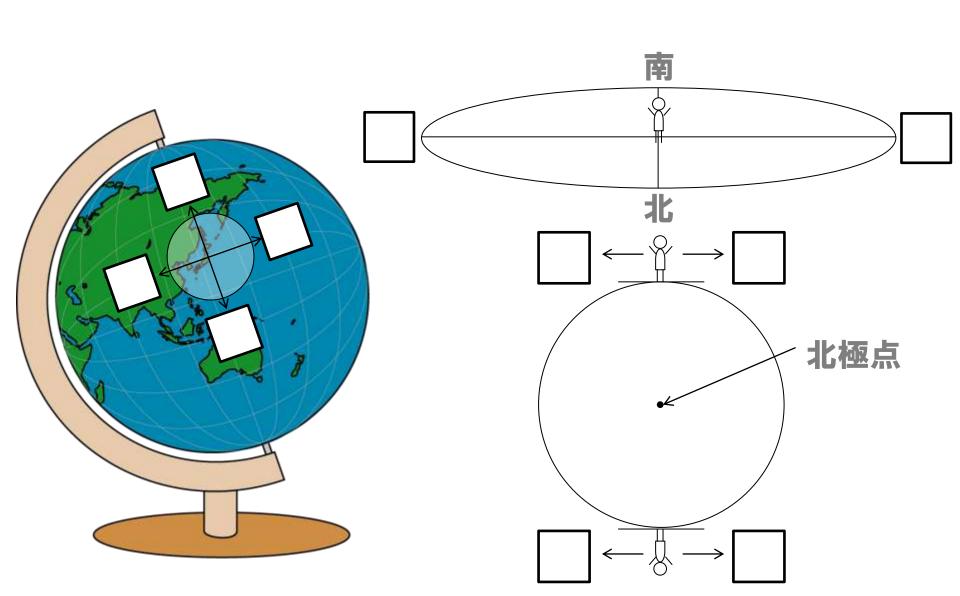
-人数:20名

-課程:小学校教員養成課程

-理系11名、文系9名

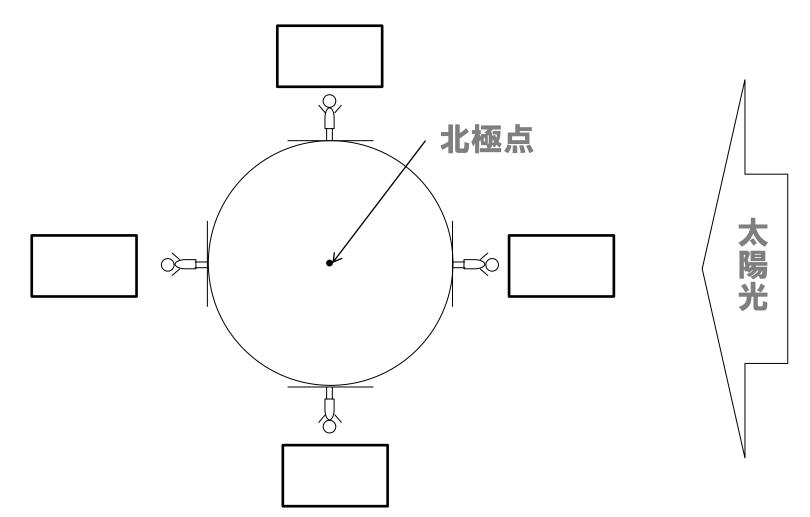
◆内容 - 方位 + - 地球の自転 + - 月の公転

アンケートの内容(方位)



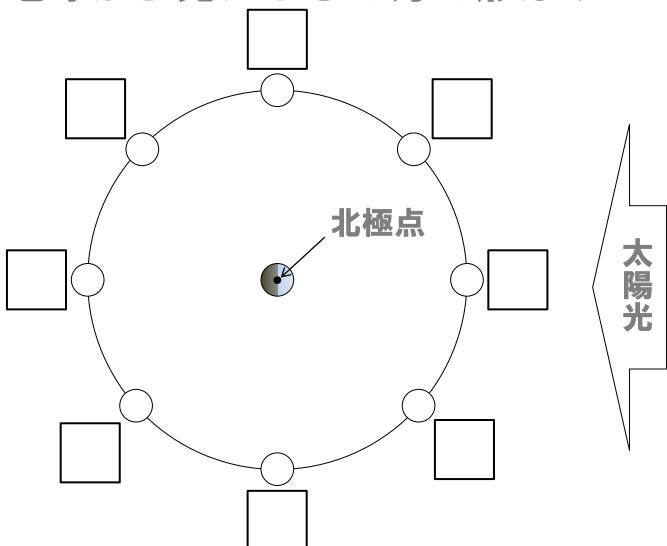
アンケートの内容(地球の自転)

地球上の人にとっての時間は?



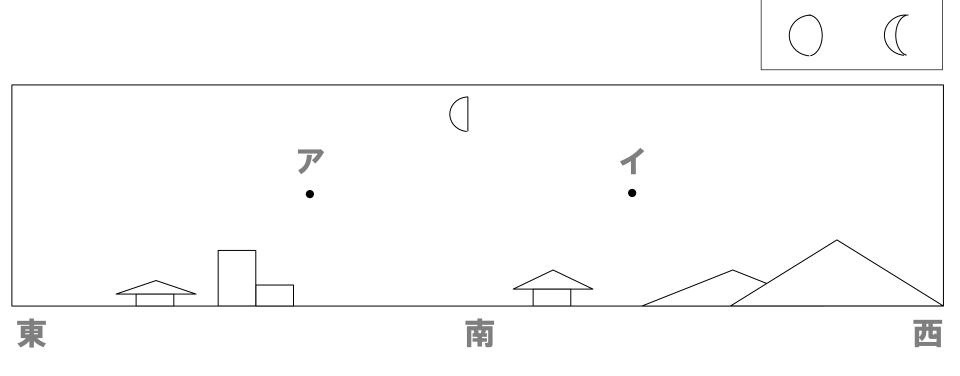
アンケートの内容(月の公転)

地球から見たときの月の形は?

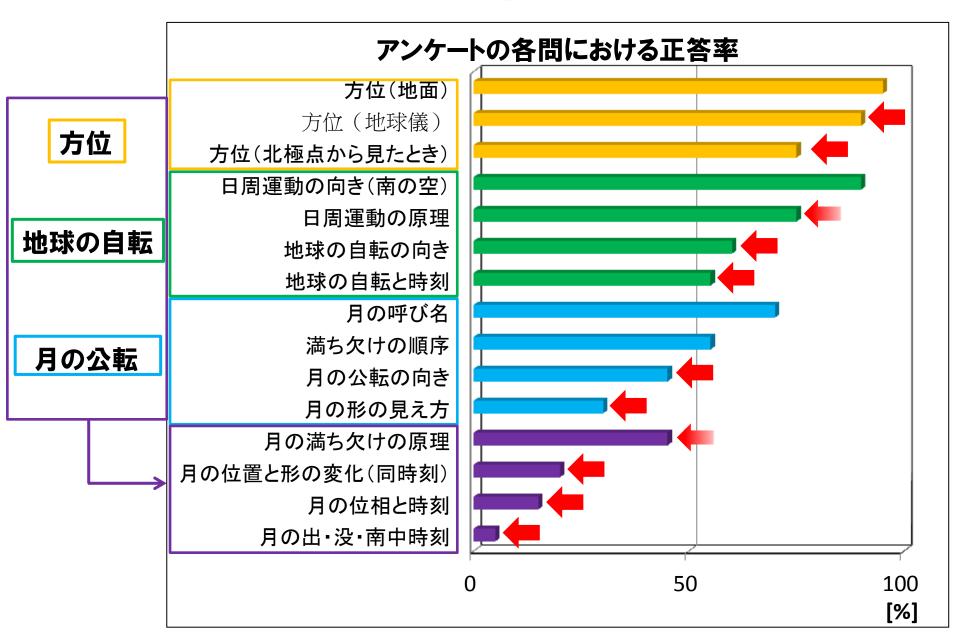


アンケートの内容 (方位+地球の自転+月の公転)

3日前、3日後の同時刻における月の位置と形は?



結果



結果から分かること

方位:87%

地球の自転:70%

月の公転:50%

方位+地球の自転+月の公転:21%

高 正答率

